

健診結果の活用不可欠

大阪ト協・OCHIISなど

セミナーで有効性説明

健康管理は労使双方の協力が不可欠。大阪府トラック協会（坂田喜信会長）とヘルスケアネットワーク（OCHIIS、武田裕理事長）など

席。講師に立ったOCHIIS保健師などの説明に熱心に耳を傾けメモを取っていた。

活用、SAS（睡眠時無呼吸症候群）の基本知識、取り組み事例などを出席者と共有した。

するハイリスク者が2023年度の集計では20・2%と、5人に1人を占めている現状が報告された。運動不足や加糖飲料の日常的な摂取、喫煙などが引き金になると指摘した。「健康改善は焦らず、地道な取り組みが欠かせない」と山田保健師。中小が大半を占めるトラック業界では、健診結果

を適切に分析することが容易ではない。そこで、OCHIISの連輪ヘルスケアシステムによる健診結果の見える化や受診を促すイエローカードの発行など、業界に特化した支援を活用することで、健康起因事故の撲滅につながられるとアドバ

健康管理は労使双方の協力が不可欠。大阪府トラック協会（坂田喜信会長）とヘルスケアネットワーク（OCHIIS、武田裕理事長）など

は7日、大阪市内で定期健康診断の事後フォロー（安全性優良事業所）の加対象となったことも受け、注目度が集まっている。同日のセミナーは3部構成で、健診結果の

目的。受講がGマーク（安全性優良事業所）の加対象となったことも受け、注目度が集まっている。同日のセミナーは3部構成で、健診結果の

は7日、大阪市内で定期健康診断の事後フォロー（安全性優良事業所）の加対象となったことも受け、注目度が集まっている。同日のセミナーは3部構成で、健診結果の

（遠藤 仁志）